

## 第 2 回 徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会

### 議事概要

平成 29 年 10 月 6 日(金) 10 時 00 分～  
徳島市中央公民館 302 会議室

#### 1. 開会

##### 【 会長 】

おはようございます。1 回目の検討会が7月にあり、今日は第 2 回目の検討会である。1 回目は主に課題について議論した。本日は、そこからステップアップして、中心的な議題は整備方針についてとなっている。いい意見を言って、良い計画づくりに貢献したい。

#### 2. 第 1 回の意見概要

##### 【事務局】

・資料1の説明

#### 3. 議事等

##### 【事務局】

・資料 2 の説明

- ① 都市機能集積による都市のにぎわい創出
- ② 魅力ある公共空間の創出
- ③ 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ

##### 【 会長 】

事務局の説明に対する内容、あるいはそれ以外の新たな視点など、意見をいただきたい。  
本日欠席の、B 委員、C 委員から事前に意見があったのでそれを説明いただきたい。

##### 【事務局】

・当日欠席となった委員の意見の説明

##### 【 会長 】

質問、意見があれば、お願いしたい。

##### 【 A 委員 】

眉山は、昔から桜の名所である。観光資源につなげたい。戦前には、眉山の中腹まで商店街や料亭もあった。大事にしたい部分である。

まちづくり協議会という組織をつくっていたが、現在は連絡協議会にとどまっている。提灯を寄付していたりしたが、立ち消えになっている。

寺町との連携など、何とか資源として活用したい。

眉山の頂上には供養塔もある。ミャンマーの軍事政権の関係で、連絡もとぎれていたが、活用したい。徳島での慰霊祭など。歴史認識の中で、交流の場所でもある。

#### 【 会長 】

空間ネットワークとしても繋いでいく事も考えられる。

#### 【 H 委員 】

道路協力団体という制度もある。四国では5つの団体が指定されており、徳島では新町川を守る会が指定されている。国が指定している状況だが、既存の組織を活用したイベントやにぎわいづくりという観点から、県・市の指定による柔軟な対応も必要ではないか。

公共交通は重要であり、公共交通中心のまちになるべきであるが、徳島は車社会である。一足飛びに公共交通というのではなく、最低限の一般車の利便性も必要である。結節性という点で軌道とバスの連携の観点も重要である。

#### 【 A 委員 】

商工会議所の方では、駐車場の案内版の設置を検討している。佐古、二軒屋あたりから、駅前アミコ駐車場の満空・混雑状況など表示できないか。花畑のボトルネックが解消されたとしても、駅前自体の混雑は解消されない。駅前まで歩いて15分もかからないため、紺屋町の地下駐車場あたりまで活用できないか。

県庁所在地の駅で、無料駐輪場システムを導入しているケースがある。徳島では違法駐輪が多く、点字ブロックが塞がれ、身体障がい者の動線に影響を与えている。再整備とあわせて検討が必要である。

また、駅前の荷捌きスペースの検討も重要である。

#### 【 副会長 】

眉山について、まちづくり計画での周辺公共施設というとロープウェイになる。

駅から眉山を見た時に、ただの山にしか見えず、登ってみたいという気分にならない。物語を聞くと、登ってみようという気分になる。現在の常緑の状態も長期的に考えていく必要がある。愛知では、100年計画で樹木を入れ替えて、紅葉化した事例もある。

ライフステージによって住む場所も変わる。駅周辺の高齢化は問題ではないのではと考えている。大学生ぐらいの若者と高齢者がミックスされていてもよい。

駅周辺に一時保育機能があれば、女性も活用しやすいのではないか。一時保育の息抜きできる場所はニーズがある。

駅周辺のターゲットについて、通勤等で広域の利用があるということなので、市民だけでなく、市外も含めてもう少し広く捉えても良いのではないか。

#### 【 会長 】

眉山の物語については、市外の人には知らない状況である。また、伝えるという点で、子どもに伝えていく必要もある。

高齢者の行動から、都心居住は適している。メニューとしてはあってもよい。

【 F 委員 】

60年前の東新町には、映画館や百貨店、遊戯店など目的地があり賑わっており、歩いて楽しいまちであった。現在の商店街には、歩くための素地がない。

昔の眉山は、よく整備されており、人も多かったが、山頂付近は私有地であるため、どのようににぎわいづくりに繋げるかが難しい。

今は第 2 次お城ブームで、観光客であふれている。歩いて楽しいまちづくり施策を展開すると自然とまちの活性化に繋がる。

【 A 委員 】

タクシーの運転手に景気を訪ねたところ、景気は上向き、いいという回答であった。土曜日は秋田町方面に、平日は一番町周辺の飲食店でにぎわいがあるようである。

駅周辺では飲食店の出店が多く、店舗数は減っていない印象がある。一方で、洋服店は厳しい印象があり、業態別に実態を把握してみても良いかもしれない。

【 事務局 】

調査は検討する。

【 会長 】

販売額等は、個店でやると難しいとは思いますが、買い物行動などの分析ができればよい。

【 D 委員 】

購買方法として、インターネットを利用することがより身近になっている。若者への対策として、駅前に来る目的をつくる必要がある。

平成 28 年の宿泊者数については、その 1 年のコンベンションの開催状況などで左右される可能性がある。他の年の状況も調べた方がいいのではないかと。また、駅前はビジネス客が多いようであるが、データ上把握できるものなのか。

観光案内所は市民ですらわからない。見せ方、機能の紹介のしかたなども重要である。

【 事務局 】

観光案内所については、DMOの一貫で、別途庁内で検討中である。

ホテルの稼働については分析を検討する。旅館の稼働率はビジネスホテルと比べて低いという傾向はある。今後どのような需要があるのか、調べていきたい。

【 A 委員 】

ホテルの連動と観光案内所との連携(宿泊場所の紹介など)も大事である。

阿波おどりの時期は、パックスツアーの影響から直前で予約に空きが出る場合がある。その空室を観光案内所が把握の上、発信する機能も考えられる。以前は、コンビニでホテルの空き案内が可能であった時期もあった。

【 事務局 】

意見としては、伝えていきたい。

【 副会長 】

観光案内所でホテルを確保するニーズはどの程度あるのか。現地で必要な観光案内所の機能は考え直す必要がある。

【 F 委員 】

現在の駅前総合観光所は、旅館組合が業務を請け負っている。システム化が必要かもしれない。

【 会長 】

インターネットが使えないシニア層が案内所のターゲットとなりうるのではないか。

【 G 委員 】

就業していない子育て世代の話題があった。アミコにも子育て安心ステーションがあるが、個人的に使い勝手が悪かった。2 時間無料だが、絶対 2 時間で帰ってくる必要があるルールとなっている。縛りが大きく、足を延ばすことができない。無料でなくても良いが、使い勝手のよい仕組みをつくってもらいたい。三歳までというルールがあるなど、徳島市以外の人には使えない状態である。県内の人の利用も想定してはどうか。

駅周辺には魅力ある施設があるが、それが足かせになって、お金が落ちない状況につながっている可能性もある。

百貨店が閉店すると影響は大きい。どこでも売っている物は、インターネットで購入するが、高い商品は足を運んで貰えるのではないか。そごうやクレメントの飲食店は空き店舗もあるようだが、駅周辺にも波及させるように、連携を考える必要がある。

【 A 委員 】

広島の商品街では、商品街内で保育施設を運営している例があり、そこでは専門の保育士を雇っている。その例では、商品街での買物レシートに判子があれば無料で、最長で 6 時間まで可能なようである。商品街での消費にどこまで繋がるかは不明だが、やることに意味があるという判断をしておき、徳島でも参考になるのではないか。

セレクトショップで他の売っていないものは、5 万～20 万くらいでも売れている。テーマを決めたものは売れる。特化して専門知識も豊富な店舗が大事ではないか。

【 副会長 】

アミコの話はいいと思った。

参考資料にあるコミュニティサイクルは便利であるが、一気に投資する必要もある。パリなどは 300 箇所のポートを同時期に設置した。30 分無料で、以降は有料となる。

大学から公民館まで来るのも、車で来ているが、無駄が多いと思っている。バスも混雑している。歩道空間の見直しも必要なので、一概にソフト施策のみでは済まないと捉えられる。

【 会長 】

ネットワークが必要である。川のネットワークとも合わせて進めていく。

【 事務局 】

川の駅構想で、コミュニティサイクルを掲げた。これの導入によって、公共交通利用促進になればと考えている。

【 副会長 】

行動が限定されると使われなくなる。コミュニティサイクル自体が公共交通の側面も有している。

駅のレンタカーの機能が弱い印象がある。やはり、広域的な回遊には車があれば便利である。補助交通に関する選択可能性が多いまちがいいまちになりうるのではないかな。

【 A 委員 】

津山では、駅前にレンタサイクルがあり、有名人の実家めぐりが流行っていたことがあった。当時は乗り捨て場所がいくつかあり、市の臨時職員が回収の対応をしていたようである。

【 会長 】

観光地であれば、周遊ルートの設置もあるだろう。どのような目的でレンタサイクルを導入するか考える必要がある。

【 H 委員 】

パリでレンタサイクル借りた際、目的地近くのポートが満車であり、離れたポートを利用した経験がある。逆に不便になる可能性もあるために、回収システムも工夫する必要がある。

今までのように、大きなバスを走らすために税金を投入するのではない。時代の変化によって、公共交通の定義が変化するような事もあるのではないかな。

【 会長 】

市民のモビリティをスムーズに確保するというのが目的。高齢社会の対応として備えていく必要がある。

調査していくということがあるが、目的をきちんと整理してからやってもらいたい。

【 事務局 】

手法等は、また相談させていただく。

【 会長 】

有意義な会になった。最終のまとめは、今年度中という事で、あと半年くらいでまとめていく。引き続きお願いしたい。

#### 4. 閉会

##### 【事務局】

次回は11月を予定している。課題、コンセプト、将来像について議論いただきたい。

-以上-